

藤沢市 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度分)

No. 2

事務事業名	長後地区整備事業費										担当課	部課名	都市整備部都市整備課			
予算科目コード	会計	01	款	09	項	04	目	01	細目	008	説明	02	課等の長	三上雅之	電話	6571

1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	長後地区の暮らしやすいまちづくりを進めるために、長後駅と長後市民センターを結ぶ長後725号線の安全・安心な交通環境の確保に向け、歩道整備事業を進めるとともに、交通の円滑化に寄与する都市計画道路高倉下長後線の整備に向けた進捗を図る。						
事業目的および必要性	長後地区のまちづくりの課題である駅周辺の交通混雑の緩和や防災に強いまちづくりの実現のために、必要な都市計画道路の整備や道路利用者の安全性を確保する歩道整備事業を実施する。						
対象	1. 個人	市民(長後地区)			33,334 人		
根拠法令等	法律等	都市計画法, 道路法					
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施						
	<input checked="" type="checkbox"/> 委託・指定管理 (委託先 : (株)基礎地盤コンサルタンツ 他)						
	(委託等内容 : 高倉下長後線道路構造物検討委託 他)						
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金 (:)						
<input type="checkbox"/> その他 ()							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名		指針体系コード		本事業は「藤沢市都市マスタープラン」、「藤沢市交通マスタープラン」、「藤沢市道路整備プログラム」などに位置付けられている。			
都市基盤の充実と長寿命化対策の推進		5-1-131					
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
道路や住宅の整備について		2.71 点	2.76 点	2.80 点	2.81 点		
		点	点	点	点		

令和元年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額 (千円)	主な事業内容
	役務費	1,805 千円	不動産鑑定手数料, 分筆登記作業 他
	委託料	13,696 千円	高倉下長後線道路構造物検討委託 他
	公有財産購入費	15,707 千円	長後725号線歩道整備事業用地取得
89,375 千円	補償補填及び賠償金	56,705 千円	長後725号線歩道整備事業移転補償
	その他	1,462 千円	旅費, 需用費
【参考】 令和2年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額 (千円)	主な事業内容
	委託料	7,714 千円	長後725号線建物等調査委託 他
	工事請負費	3,476 千円	長後725号線歩道整備工事
	公有財産購入費	6,293 千円	長後725号線歩道整備事業用地取得
20,099 千円	補償補填及び賠償金	1,569 千円	長後725号線歩道整備事業移転補償
	その他	1,047 千円	旅費, 需用費, 役務費

2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	2.50	3.50	3.50	3.30
再任用短時・任期付短時職員	0.00	0.00	0.00	0.00
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	2.50	3.50	3.50	3.30

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	長後725号線歩道整備事業の進捗を図るため、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地取得等を実施した。 長後駅周辺の交通混雑緩和を図るため、高倉下長後線の都市計画変更に向けた関係機関との協議及び道路構造物の設計検討等を実施した。 長後地区全体集会、郷土づくり推進会議等において、上記事業の進捗状況等を説明し、意見交換を行った。 平成29年度に清算金の徴収を完了した長後駅東口土地区画整理事業の事後評価に関する基礎資料の作成を実施						
	指標名	単位	平成28年度 目標値	平成29年度 目標値	平成30年度 目標値	令和元年度 目標値	備考
成果目標	高倉下長後線整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	-	-	
	長後725号線歩道整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	15	15	15	
	参考						
活動実績	指標名	単位	平成28年度 実績値	平成29年度 実績値	平成30年度 実績値	令和元年度 実績値	備考
	長後西口地区まちづくり検討委員会	回	2	1	1	1	
	長後地区郷土づくり推進会議	回	2	2	2	2	
	沿道地権者等事業説明会・意見交換会	回	3	1	1	0	
成果実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考
	高倉下長後線整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	-	-	-	
	長後725号線歩道整備事業進捗率（整備延長/計画延長）	%	-	15	15	15	
	数値で表せない効果 ・説明会や個別交渉など地元調整を行い、地権者等の事業に対する理解を深めた。						

4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
コスト	行政費用(フルコスト) A	31,559	99,592	56,494	120,872
	(1)現金を伴う支出 (千円)	31,640	97,100	56,871	121,446
	事業費(支出済額-②報酬合計)	7,526	63,266	23,144	89,375
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	24,114	33,834	33,727	32,071
	①職員給与合計(常勤)	22,753	32,267	32,085	30,165
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0
	③退職金相当額	1,361	1,567	1,642	1,906
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-81	2,492	-377	-574
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-81	2,492	-377	-574
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他()	0	0	0	0
	行政収益(事業収入) B	0	4,985	0	66,487
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	4,985	0	66,487	
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0	
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0	
③国庫支出金	0	1,485	0	17,187	
④県支出金	0	0	0	0	
⑤その他(道路整備事業債)	0	3,500	0	49,300	
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0	
収入未済増減額	0	0	0	0	
収支差額(純費用)A-B E	31,559	94,607	56,494	54,385	
分析指標	項目	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	長後725号線進捗率 F	%	15	15	15
	1単位あたりの総費用 A/F (円)		6,639,466.67	3,766,266.67	8,058,133.33
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)		74.24	221.30	125.58
受益者負担率 (C+D)/A (%)		0.00	0.00	0.00	

※1 職員数・・・〔常勤〕一般職員、再任用職員、任期付職員、嘱託職員〔非常勤〕月額報酬の非常勤職員（一部月額報酬の非常勤職員を含む）

※2 人件費・・・〔常勤〕任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出〔非常勤〕月額報酬（一部月額報酬を含む）の年度合計額

※3 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	高倉下長後線の関係部局との協議については、河川部局との協議に想定以上の時間を要し、農政部局との協議を行っているが完了に至っていないことから、予定スケジュールの遅延の可能性があることが課題である。長後725号線については、次期整備区間の地権者等との合意を形成することが課題である。
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	都市計画道路高倉下長後線は、農政部局との協議を進め、協議を完了した。長後725号線歩道整備に関係する地権者等との合意形成に向けた交渉を進めることができた。
(3) 令和元年度末時点の課題	高倉下長後線は、当初、令和元年度までに都市計画の変更手続きを目指したが、河川部局との協議に想定以上の時間を要したことや歩道橋などの区域を新たに確定する必要が生じ、スケジュールの見直しが必要となった。長後725号線歩道整備事業に関係する地権者等から事業協力が得られるように合意形成を進めていくことが課題である。
(4) (3)解決のための今後の取組	高倉下長後線の都市計画変更に向け、新たな区域を確定する調整・協議を進める。長後725号線歩道整備については、用地取得に向けて地権者等との交渉を丁寧に進める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	④ 事業費…令和元年度支出済額	ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満	
	(2) 財政的な特徴	⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
	4. 施設等整備	歩行者等の道路利用者の安全性向上 都市基盤の整備	

7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	本市を取り巻く社会経済状況を見ると、財政状況の先行きが見通せない。 都市基盤整備に対する国等の補助金の先行きが見通せない。 超高齢社会の進展などにより多様化する交通ニーズへの対応、環境にやさしい交通環境づくり等の道路計画が求められている。	
	都市計画道路の計画・整備及び既存道路への歩道整備については、本市と同様の手法で進められている。	
市民ニーズ	把握方法	「長後西口地区まちづくり検討委員会」(市民公募19名 1回/年程度) 「長後地区郷土づくり推進会議」(自治会、公募 2回/年程度) 「長後地区全体集会」(1回/年) 地権者等に対し、自治会単位等での説明会、意見交換会(適宜) 個別の事業説明(適宜)
	把握内容	長後地区のまちづくりの将来像、目標、地域の魅力、長後らしさ等 地権者からは、道路計画へのご意見や用地買収に関する不安等
	対応等	時代の変化に伴う市民ニーズに合わせた長後地区整備事業の進捗を図る。

8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	高倉下長後線については、都市計画変更に向けた農政部局との協議を完了させることができた。また、整備に向けた道路構造物の設計検討などを進め、事業の進捗を図った。 長後725号線については、歩道整備に向け、長後市民センター東側区間における一部の土地について用地取得等を実施し、事業の進捗を図った。 平成29年度に清算金の徴収を完了した長後駅東口土地区画整理事業の事後評価に関する基礎資料の作成を実施した。	
	まちづくりテーマ	① 安全で安心な暮らしを築く
今後の方針	事業の方向性	現状維持
	都市計画道路高倉下長後線は、長後駅周辺の交通渋滞緩和のために重要な路線であることから、引き続き、都市計画変更に向けた関係機関協議等を進め、事業の進捗を図っていく。 長後725号線歩道整備事業については、引き続き、歩行者等道路利用者の安全性向上のため、事業の進捗を図っていく。	

9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
7	長後西口まちづくり検討委員会に関すること	無	無	2	
8	事業用地取得に関すること	有	無	3	1
9	高倉下長後線に関すること	無	無	2	2
10	長後西口地区の整備に関すること	無	無	2	2
11	長後725号線歩道整備事業に関すること	無	無	2	2
12	長後地区整備計画の事業認可申請	無	無		
13	工事の設計及び施工	無	無	2	2

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満，レベル2は10%以上30%未満，レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響，レベル2は部内への影響，レベル3は他部又は全庁への影響。

10. 部長確認欄

部名	都市整備部	氏名	川崎 隆之	確認日	2020/7/7
----	-------	----	-------	-----	----------